

# 福祉で町づくりを推進

日野町社会福祉協議会が設立25周年 福祉大会を開く

地域の福祉の芽を  
育てていきたい

町社会福祉協議会（小谷三郎会長）は、設立25周年を迎え、福祉のまちづくりを推進しようと、6月21日、福祉大会を町文化センターで開きました。

始めに、長年在宅介護してきた家族やボランティア活動を通して社会福祉の推進に貢献した個人、団体に表彰状と感謝状が手渡されました。小谷会長は、「今後もあらゆる問題に取り組み、地域の福祉の芽を育てていきたい」とあいさつしました。

その後、流通科学大学教授の沢田清方さんを迎え、「これからの地域福祉を考える」と題して講演を聞きました。沢田さんは、「もう一度、福祉とは何かという原点に戻り、社会全体で考えていくことが大切です。地域の問題に触れ、自分の問題としてとらえてい



ボランティア体験の感想を話す小学生

きましょう」と話しました。

ボランティア活動を  
続けていきたい

午後からは、地域で活動しているグループの実践発表がありました。

日野ボランティア・ネットワーク（小谷博徳代表）は、これまで取り組んできた活動やボランティア育成などの成果を発表。活動に参加している町内の小学生5人が「ボランティアはみんなのためになるし、自分のためにもなる」

「これからもぜひ続けていきたい」と発表しました。

黒坂小学校の生徒10人も、駅の清掃活動や高齢者宅訪問などで感じたことを「活動は大変だったけど、喜んでもらえて良かった」と話しました。

その後は、日野高校生徒による荒神神楽や下榎女性会の花傘音頭、コーラスグループによる合唱がありました。

会場を訪れた約220人は講演、実践発表を真剣に聞き入り、これからの地域福祉について考えました。

心豊かに暮らせる  
福祉社会を確立

町社会福祉協議会は、住民だれもが心豊かに安心して暮らせる福祉社会を確立するため、昭和53年に社会福祉法人として設立。老人福祉センター（黒坂）内に事務局を置き、福祉に対する住民意識の高揚を図り、福祉のまちづくりを推進しています。

## 合併協議会設立準備会を設立

日野・江府町の2町合併に向け準備を進める



合併協議会設立準備会の看板を掲げる日野・江府町長

日野町と江府町は、2町合併に向け、7月1日、合併協議会設立準備会を江府町に開設しました。

職員は日野・江府両町と県から派遣された5人です。

合併協議会設立準備会の事務局体制を紹介します。

式には日野、江府町の執行部や議員など関係者約20人が出席。準備会会長の福田正臣江府町長が「7月中には法定協議会設置の議決を得て、早急に合併に向けて準備を進めていきたい」とあいさつ。その後、福田江府町長と梅林日野町長が事務所に準備会の看板を掲げました。

- 会長「福田正臣（江府町長）」
- 副会長「梅林豊（日野町長）」
- 事務局長 森正幸（江府町助役）
- 局長代理「長谷川猶幸（日野町助役）」
- 室長「松田勲（日野町）」
- 補佐「西田哲（江府町）」
- 次長「西村昭（県職員）」
- 主幹「塔川和之（日野町）」
- 主任「長尾英俊（江府町）」